

かんぽの宿の現状と今後の取組み

日本郵政株式会社

2019年6月27日

目 次

1	宿泊事業の経緯	．．．	P 1
2	宿泊事業の組織（体制）及び業務概要	．．．	P 2
3	かんぽの宿等の設置状況	．．．	P 3
4	かんぽの宿等の利用状況	．．．	P 5
5	宿泊事業の損益状況	．．．	P 6
6	2019年度における経営改善に向けた主な取り組み	．．．	P 7
7	かんぽの宿の配置の見直し	．．．	P 8
	<参考>	．．．	P 9

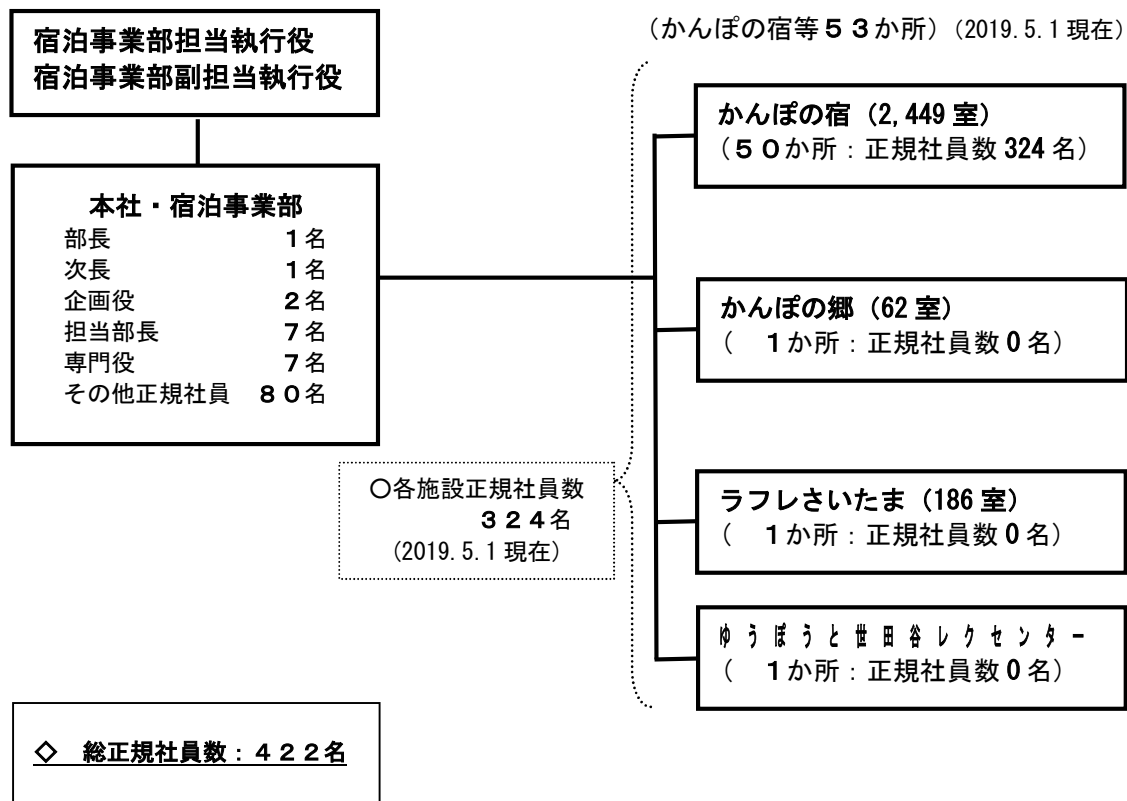
1 宿泊事業の経緯

- かんぽの宿等は、郵政省が旧簡易生命保険法(昭和 24 年法律第 68 号)に基づき、簡易保険加入者の福祉増進のために設置された施設で、1955(S30)年 10 月に開業した「熱海」が最初の施設。
- 簡易保険福祉事業団の発足(1962(S37)年 4 月)に伴い郵政省から同事業団が承継し、また、日本郵政公社の発足(2003(H15)年 4 月)に伴い、同事業団から日本郵政公社が承継して運営していた。
- 郵政民営化(2007(H19)年 10 月)に伴い日本郵政株式会社が承継し、運営することとなった。
なお、郵政民営化に伴い、旧簡易生命保険法が廃止されたことから、簡易保険加入者の福祉増進施設としての性格はなくなった。
- 日本郵政株式会社法では、民営化後 5 年以内に譲渡又は廃止することとされたが、2009(H21)年 12 月に、いわゆる郵政株式処分凍結法が施行され、その譲渡又は廃止が凍結されていた。
- 2012(H24)年 4 月に郵政民営化法等の一部を改正する等の法案が成立し、当分の間、かんぽの宿等の運営又は管理する業務を日本郵政株式会社が行うこととなった。
- 現在は、旅館業法に基づく許可を受けて運営している。

※ メルパルクは、郵政民営化(2007(H19)年 10 月)に伴い日本郵政株式会社に承継されたが、2018(H30)年 10 月に日本郵政不動産株式会社へ承継した。

2 宿泊事業の組織(体制)及び業務概要

1 組織 (体制)



2 業務概要

◇ 宿泊事業部

宿泊事業の運営を行う。

- 1 宿泊施設の管理及び運営
- 2 資産の管理 (※)
- 3 物品及び役務等の調達・契約 (※)
- 4 社宅の管理及び運営 (※)
- 5 利用料金設定、利用申込等に関する指導・調整
- 6 会議の開催計画、研修の企画および実施等
- 7 コンプライアンスの推進
- 8 犯罪・災害発生時の対応

(※) 宿泊事業部の所掌に属するものに限る。

◇ 宿泊施設

広く一般のお客さまに宿泊、飲食等のサービスの提供を行う。

【注1】 正規社員数、かんぼの宿等の数は、2019年5月1日現在

【注2】 「かんぼの郷」、「ゆうぼうと世田谷レクセンタ－」については、運営を他の法人に、「ラフレさいたま」は、JPホテルサービス株式会社(100%子会社)に委託している。

3 かんぽの宿等の設置状況

名称		所在地
1	小樽	北海道小樽市朝里川温泉 2-670
2	一関	岩手県一関市巖美町字宝竜 147-5
3	酒田	山形県酒田市飯森山 3-17-26
4	郡山	福島県郡山市熱海町熱海 3-198
5	いわき	福島県いわき市平藤間字柴崎 60
6	大洗	茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 7986-2
7	潮来	茨城県潮来市水原 1830-1
8	塩原	栃木県那須塩原市塩原 1256
9	栃木喜連川温泉	栃木県さくら市喜連川 5296-1
10	磯部	群馬県安中市郷原 22
11	寄居	埼玉県大里郡寄居町末野 2267
12	鴨川	千葉県鴨川市西町 1137
13	旭	千葉県旭市仁玉 2280-1
14	勝浦	千葉県勝浦市鶴原 2183-5
15	青梅	東京都青梅市駒木町 3-668-2
16	箱根	神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 159
17	石和	山梨県笛吹市石和町松本 348-1
18	諏訪	長野県諏訪市大和 2-15-16
19	富山	富山県富山市婦中町羽根 5691-2
20	福井	福井県福井市湊町 43-17
21	熱海(本館)	静岡県熱海市水口町 2-12-3
	熱海(別館)	静岡県熱海市水口町 2-13-77
22	伊豆高原	静岡県伊東市八幡野 1104-5

名称		所在地
23	焼津	静岡県焼津市浜当目 1375-2
24	浜名湖三ヶ日	静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑 2977-2
25	知多美浜	愛知県知多郡美浜町奥田砂原 39
26	恵那	岐阜県恵那市大井町 2709
27	岐阜羽島	岐阜県羽島市桑原町午南 1041
28	鳥羽	三重県鳥羽市安楽島町 1200-7
29	彦根	滋賀県彦根市松原町 3759
30	舞鶴	京都府舞鶴市上安 224-5
31	富田林	大阪府富田林市龍泉 880-1
32	大和平群	奈良県生駒郡平群町上庄 2-16-1
33	奈良	奈良県奈良市二条町 3-9-1
34	紀伊田辺	和歌山県田辺市目良 24-1
35	有馬	兵庫県神戸市北区有馬町 1617-1
36	赤穂	兵庫県赤穂市御崎 883-1
37	淡路島	兵庫県淡路市富島 824
38	竹原	広島県竹原市西野町 442-2
39	光	山口県光市室積東ノ庄 31-1
40	湯田	山口県山口市神田町 1-42
41	観音寺	香川県観音寺市池之尻町 1101-4
42	徳島	徳島県徳島市八万町中津山 3-70
43	伊野	高知県吾川郡いの町波川 1569
44	北九州	福岡県北九州市若松区大字有毛 2829
45	柳川	福岡県柳川市弥四郎町 10-1
46	島原	長崎県島原市白山町 8362-3

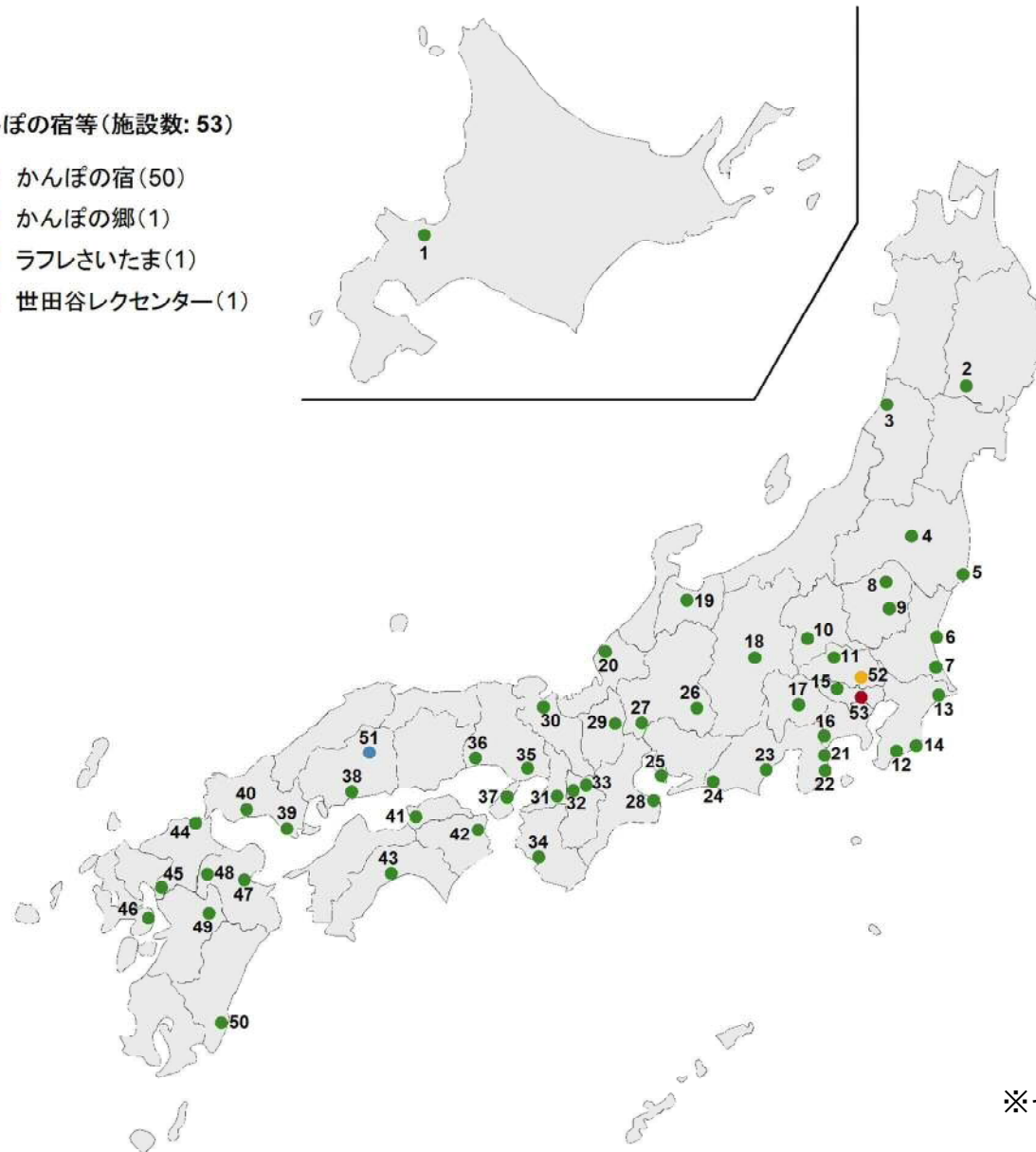
名称		所在地
47	別府	大分県別府市大字鶴見 457
48	日田	大分県日田市中ノ島町 685-6
49	阿蘇	熊本県阿蘇市一の宮町宮地 5936
50	日南	宮崎県日南市大字星倉 2228-1
51	庄原	広島県庄原市新庄町 281-1
52	うらさいたま	埼玉県さいたま市中央区新都心 3-2
53	世田谷レクセナー	東京都世田谷区鎌田 2-17-1

※ 民営化時(2007.10)の施設数は71。2014年9月末に十勝川・横手・草津・山代・修善寺の5か所、2014年12月末に白山尾口、2015年3月末に宇佐、2015年9月末に三ヶ根・熊野・白浜・皆生・美作湯郷・坂出・道後・山鹿・那覇レクセナーの9か所、2016年3月末に松島、2016年5月24日に柏崎を廃止

※ 舞鶴(30)及び島原(46)は休館中。

かんぽの宿等(施設数: 53)

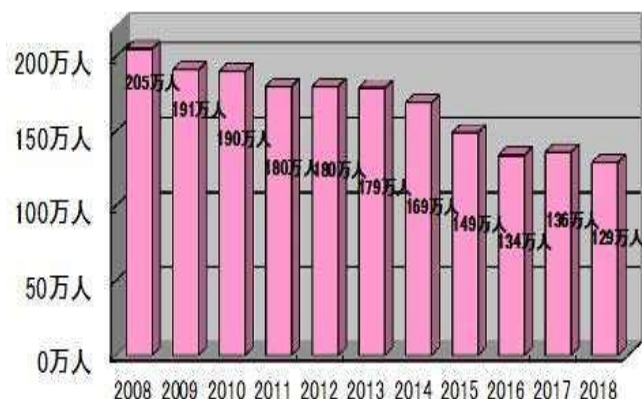
- かんぽの宿(50)
- かんぽの郷(1)
- ラフレさいたま(1)
- 世田谷レクセンター(1)



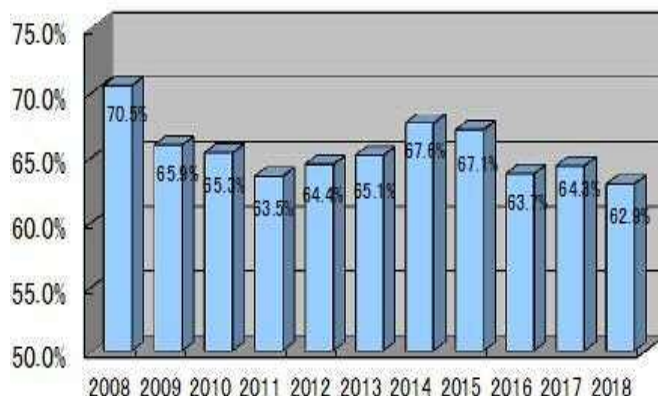
※それぞれの番号は P3 と連動

4 かんぽの宿等の利用状況

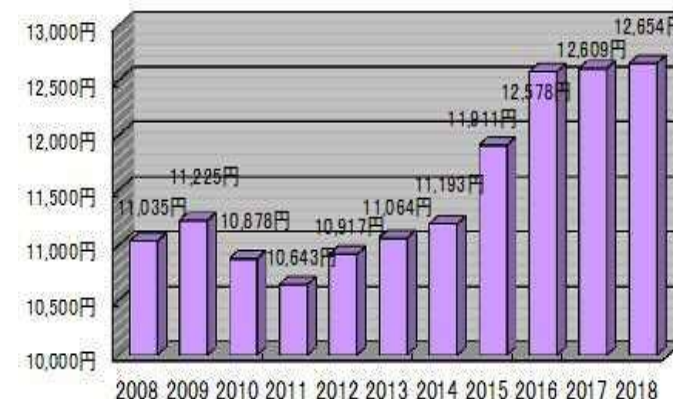
① 延べ宿泊人数



② 客室稼働率



③ 宿泊単価



	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
① 延べ宿泊人数	205万人	191万人	190万人	180万人	180万人	179万人	169万人	149万人	134万人	136万人	129万人
② 客室稼働率	70.5%	65.9%	65.3%	63.5%	64.4%	65.1%	67.6%	67.1%	63.7%	64.3%	62.9%
③ 宿泊単価	11,035円	11,225円	10,878円	10,643円	10,917円	11,064円	11,193円	11,911円	12,578円	12,609円	12,654円

宿泊業界全体における2018(H30)年の延べ宿泊人数は5億902万人泊(前年比-0.1%)となり、前年を若干下回った。このうち日本人延べ宿泊人数は4億2,043万人泊(前年比-2.2%)となる一方、外国人延べ宿泊人数は8,859万人泊(前年比+11.2%)と2007(H19)年の調査開始以来の最高値となった。

また、客室稼働率は全体で61.1%(前年比+0.6%)となり、施設タイプ別では、旅館(39.0%)も含めて、シティホテル(79.9%)、ビジネスホテル(75.3%)、リゾートホテル(58.3%)のいずれもが前年以上となった。

(典拠：観光庁「宿泊旅行統計調査」(2018年・年間値(速報値))

一方、かんぽの宿においては、2014(H26)年度及び2015(H27)年度に一部の不採算宿の営業を終了したことにより、延べ宿泊人数は、2013(H25)年度の179万人泊から2016(H28)年度には134万人泊に減少した。その後、2017(H29)年度には136万人泊と増加したが、2018(H30)年度は、2018年7月の西日本豪雨によってかんぽの宿竹原が被災したこと等が要因となって、129万人泊と前年度を7万人泊下回った。

5 宿泊事業の損益状況

単位：億円

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
宿泊事業	営業収益	376	352	341	317	322	318	303	281	262	265	239
	営業費用	428	384	373	347	336	337	332	300	287	294	276
	営業損益	▲52	▲32	▲32	▲29	▲14	▲18	▲29	▲19	▲24	▲29	▲37

※ 上記の数値は、財務会計上のものである。

※ 億円未満は、切り捨て。

6 2019年度における経営改善に向けた主な取り組み

(1) 黒字化に向けた構造改革

- ① 新しい利用者・顧客の獲得
 - ・ 新規顧客獲得のため広域な広告宣伝からターゲットを絞った宣伝の実施
- ② 各種営業施策の更なる強化
 - ・ 商品開発力の強化
 - ・ インバウンド利用者の獲得
 - ・ 法人営業の強化

(2) かんぽの宿の足腰強化

- ① 宿の業務の効率化・事務の削減
 - ・ 標準業務フローの構築
 - ・ 共通事務の削減、効率化の推進
 - ・ 料理部門の業務効率化の推進、コストの削減
- ② 各種データの集約と分析等の強化
 - ・ データの一元管理と活用
 - ・ 分析力・課題解決力の強化

③ 宿の魅力向上に繋がる人材育成

- ・ 効果的な研修等の実施
- ・ 研修内容の情報共有と継続的な宿指導の実施

(3) 魅力度向上等に伴う投資

- ① リニューアルの実施に向けた取組
- ② 中長期修繕計画の着実な実施
 - ・ 集中的な修繕工事の実施

(4) 現場と本社の一体感の醸成

- ① ES・コミュニケーションの強化・推進
- ② 正規社員への登用・新規採用の積極的推進（労働力を確保）
- ③ コンプライアンスの徹底・ハラスメントの根絶

7 かんぽの宿の配置の見直し

1 目的

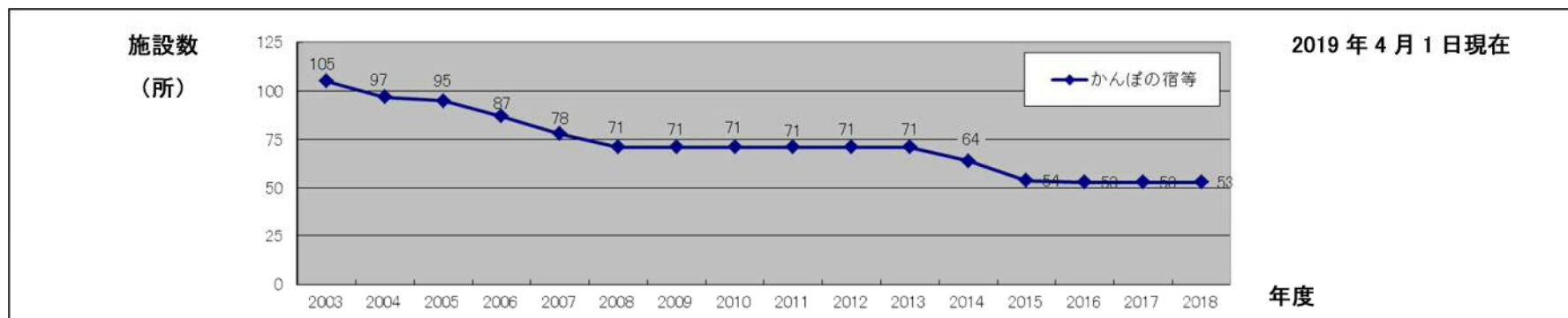
宿泊事業の早期の黒字化を実現するため、将来の損益等の回復の可能性が小さく、老朽化に伴う回収コストが大きく、その回収が困難であり、チェーンの魅力維持への寄与が少ない宿の配置見直しを行っている。

2 営業停止する宿

以下の12宿について、2019年12月20日をもって営業を停止。

郡山、磯部、勝浦、箱根、諏訪、岐阜羽島、富山、浜名湖三ヶ日、湯田、徳島、別府、日南

1 施設数の推移



2 公社以降に廃止したかんぼの宿等

廃止時期	廃止施設数	施設名
2004 (H16) 年 3 月末	8 施設	網走、洞爺、碓ヶ関、男鹿、越中庄川峡、伊予肱川、土佐中村、日向
2005 (H17) 年 3 月末	2 施設	大沼、十和田
2006 (H18) 年 3 月末	8 施設	層雲峡、白石、盛岡、米沢、佐渡、妙高高原、安芸能美、阿波池田
2007 (H19) 年 3 月末	9 施設	山中湖、鹿教湯、能勢、但馬海岸豊岡、鳥取岩井、三瓶、遙照山、武雄、指宿
2007 (H19) 年 6 月末	1 施設	浦安
2007 (H19) 年 8 月末	6 施設	札幌健診、仙台健診、東京健診、名古屋健診、大阪健診、広島健診
2014 (H26) 年 9 月末	5 施設	十勝川、横手、草津、山代、修善寺
2014 (H26) 年 12 月末	1 施設	白山尾口
2015 (H27) 年 3 月末	1 施設	宇佐
2015 (H27) 年 9 月末	9 施設	三ヶ根、熊野、白浜、皆生、美作湯郷、坂出、道後、山鹿、那覇レクセンター
2016 (H28) 年 3 月末	1 施設	松島
2016 (H28) 年 5 月 24 日	1 施設	柏崎
合計	52 施設	

※「ゆうほうと」は、2015 (H27) 年 9 月末をもって営業を終了。